

新庁舎建設特別委員会の概要（第21回）

- 1 日 時 令和3年7月7日（水） 午前9時から
- 2 場 所 第1議会委員会室
- 3 出 席 全委員
- 4 内 容 1 中長期財政見通しについて
2 その他

◆配布資料

- ・ R3 中長期財政見通しに関する資料
- ・ 出前講座、ミニミーティング、市民説明会に関する資料

【委員会で出た主な意見】

●中長期財政見通しについて

<議員> 新庁舎建設の費用の財源内訳は。

→ 庁舎本体は45～50億円を想定しており、そのうち庁舎建設基金で半分程度賄うように積立てを行っている。残りの財源は補助金や地方債を活用して確保する。

<議員> 地方債の償還年数はどのぐらいか。

→ 金額が確定していないので想定であるが、償還年数25年で毎年最大1億円の返済を考えている。

●新庁舎整備に関する出前講座、ミニミーティング、市民説明会について

<議員> 市民説明会について、山之上地区、伊深地区、三和地区も交流センターではなく小学校の体育館を活用してより多くの市民の方が参加できるようにできないか。

→ 小学校は冷暖房設備が整備されていないため、参加者に負担をかけないように、地区人口を考慮して交流センターの方が適しているのではないかと判断した。引き続き、より多くの市民の方に参加できるように、小学校の利用も検討していきたい。

<議員> 会場の人数制限で参加できない市民のためには、出前講座を大いに活用してほしい。

<議員> 出前講座、ミニミーティングの開催場所はどこでもいいのか。

→基本的に申し込みされた方が用意した場所で行うことになる。

<議員>市民説明会が9月下旬から10月上旬に開催を予定されているが、周知方法はどのように行うのか。

→市役所HP、すぐメール、SNSはもちろん、周知用のチラシを作成して広報9月号が配布されるときにチラシを差し込み周知していきたい。

<議員>前回の市民説明会は、4候補地について説明が行われているため、再度候補地の比較について説明していただきたい。また、説明会の内容をまとめて公表していただきたい。

【まとめ】

新庁舎整備については、より多くの市民の方に出前講座、ミニミーティング、市民説明会に参加していただき情報を共有していきたい。そして、よりよい新庁舎が建設されるように執行部、市議会議員ともに協力して調査・研究を進めていく。